

子育てをみんなで支えるまちづくり

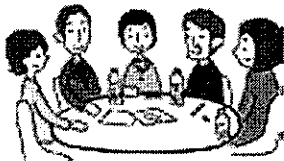
《村上市次世代育成支援行動計画評価委員会報告》

次世代育成支援行動計画は、子どもを安心して生み育てることができる社会の構築を目指し、子育て支援の整備、充実を図ることを目的に策定された計画で、平成22年度から26年度までを後期計画の期間としています。

今年度は、計画の進捗状況などについて市民の皆さんの声を反映させるため、評価委員会を設置して意見を伺いましたので報告します。

地域における子育ての支援

- ・ファミリー・サポート・センター（地域で子育てを支援する相互援助活動）をなるべく早く開設してほしい。子育てを支援する人の確保が重要である。行政だけでなく、民間も協力して支援が必要である。
- ⇒ファミリー・サポート・センターを開設し、地域で子育てを支援する体制を整備します。



母性並びに乳児および幼児等の健康の確保と増進

- ・子ども医療費助成の拡大を子育て家庭の負担軽減のため実施してほしい。
- ⇒平成24年9月から、第3子以上の世帯で中学生まで対象を拡大しましたが、全ての世帯の中学生までの拡大に向け、準備を進めます。

子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

- ・各支所単位で実施している事業の統一化を図り、市全体で実施してほしい。
- ⇒地区の特色ある事業もありますが、できるものは全地区で行えるよう検討していきます。



職業生活と家庭生活との両立の推進

- ・子どもの具合が悪いときに父も母も休みが取れる社会にするため、地域全体の意識改革が必要。また、企業への啓発を行う必要がある。
- ⇒子育て支援について企業へも働きかけていきたいと考えています。

●問い合わせ 福祉課子育て支援室
☎53-2111(内線243)

子育てを支援する生活環境の整備

- ・安全確保のため、横断歩道などの交通安全施設の設置を要望している。今後もお願いしたい。
- ⇒市として要望を取りまとめ、県の公安委員会に依頼をしています。今後も行っていきます。

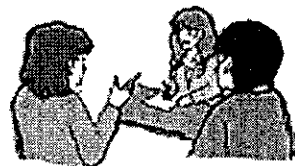
子ども等の安全の確保

- ・子ども110番の家、育成委員の安全パトロールなど地域での安全確保のための体制を整える必要がある。
- ⇒市全体の統一活動の実施や組織の見直しを含め、検討していきます。



要保護児童への対応などきめ細やかな取り組みの推進

- ・相談窓口のPRが不足している。
 - ・子育てが苦手な家庭を孤立させないための連携、子育て家庭への支援、福祉サービスへつなげていく関わりがもっと必要である。
- ⇒子育ての支援のあり方を引き続き検討していきます。



その他

- ・「トキっ子くらぶカード(※)」など、子育て家庭への支援が他市にはある、村上市でも行ってほしい。
- ⇒市で独自に行うには、市内の商店や企業の協力が必要です。今後の計画の中で協議をしていきたいと考えています。

※「トキっ子くらぶカード」とは新潟県が事業者に委託して行っている子育て家庭応援連携事業「トキっ子くらぶ」の会員証のことで、県内在住の小中学生以下の子どもがいる世帯であれば、入会すればもらえます。(無料で入会できます)市内でもサービスを行っているサポート店があります。詳しくは「トキっ子くらぶ」のホームページをご覧ください。

評価委員会から、提案された意見・要望については検討して、実施できるものから進めていきます。

また、平成25年度から「子ども・子育て支援事業計画」策定の準備を始めますので、その計画に盛り込んでいきたいと考えています。